

花小だよりNo.9 秩父夜祭 解説編



由来については諸説あります。今回は以下の資料を参照しました。

『秩父大祭』千嶋寿 著

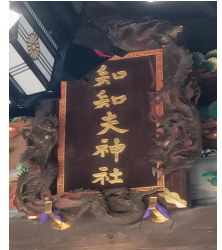
『秩父夜祭』秩父観光協会 発行

『秩父祭屋台』秩父市教育委員会 秩父市文化財保護委員会 発行

秩父神社HP 秩父祭り会館HP

問1 なぜ、知知夫神社なのか？

知知夫彦命（ちちぶひこのみこと）という人が神社を創建したと言われています。崇神天皇（すじんてんのう…日本の第10代天皇…紀元前147年～紀元前30年）の時代に、国造（くにのみやつこ…今で言う市長さんのような国の役人）となり、この地を治めていました。今の秩父という表し方の始まりは713年（和銅6年）と言われています。それ以前は知知夫国とされていました。



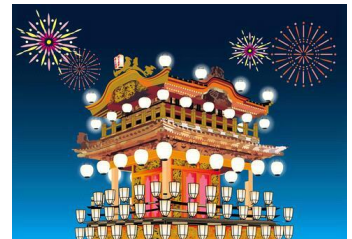
問2 亀の子石とは何なのか？

亀の子石とは、玄武（げんぶ…亀と蛇の合体した、北方の守り神とされている空想の動物）であり、秩父神社の女神、妙見（みょうけん）様が武甲山の男神に逢いに行く際の乗り物とされています。秩父神社、亀の子石、武甲山、北極星が南北に一直線上に並ぶ配置にはロマンがあります。



問3 「山車（だし）」と表す由来は？

日本では古くから神様は天にいと信じられてきました。人々は天に近い高い所に行けば神様にお会いできると信じ、神様をお招きするために山の上に社や祠をつくり、おもてなしをして祈りを捧げていました。しかし、山の上では、お年寄りや子供、体の不自由な人はお参りするのが困難です。そこで、人工的な“山”をつくって神様をお招きし、街中を曳きまわすことによって誰もが神様にお会いしてお祈りできるようにと考えるようになりました。これが山車の始まりです。なお、秩父の「屋台」には“移動式歌舞伎舞台”という意味合いがあるそうです。



問4 絹の取引額の最高は？

正解は①5億5000万円くらい

1731年（享保16年）には霜月（旧11月）3日4日の2日間で9894疋（ひき…織物1疋＝約50m）の取引があったという記録があります。1疋が1両として、1両を今の5万5千円ほどに換算すると5億5000万円になりますが、1両は実は13万円ほどだという考え方もあるため、実際はさらに高額だったかもしれません。



問5 保存が効く食べ物の文化には、どんな理由が？

現代のように冷暖房完備、自動温度設定などなかった頃に養蚕（蚕を飼うこと）を行うことはとても大変でした。ちょっとした天候や気温の変化で蚕が病気になってしまったり死んでしまったりするからです。そうさせないために、養蚕農家の人たちは、決まった時間に家族揃っての食事ができなかったり、夜通し寝ないで蚕の様子をみたりという日も少なくなかったようです。ご飯は作り置きすると特に夏などは傷んで食べられなくなってしまうため、手が空いた時に食べられるように、お饅頭やお餅、そばなど、時間が経っても傷みにくい食文化が進んだということです。